

人を想い、工夫を重ねる。  
シンドースピリッツのモノづくり。

「材料からこだわる」モノづくり

「新しい常識を創る」モノづくり

「問題解決のための」モノづくり

Policy 1

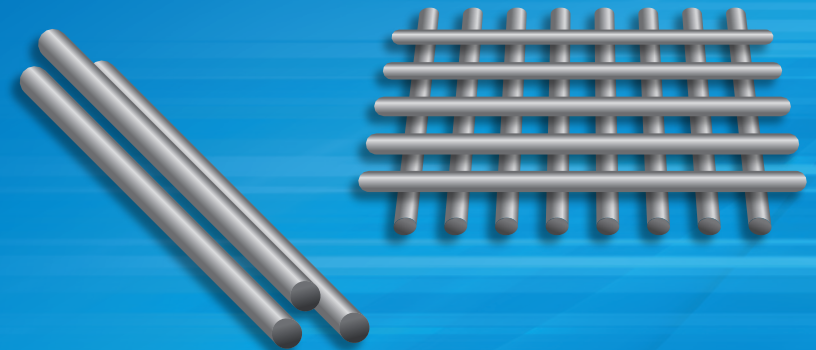
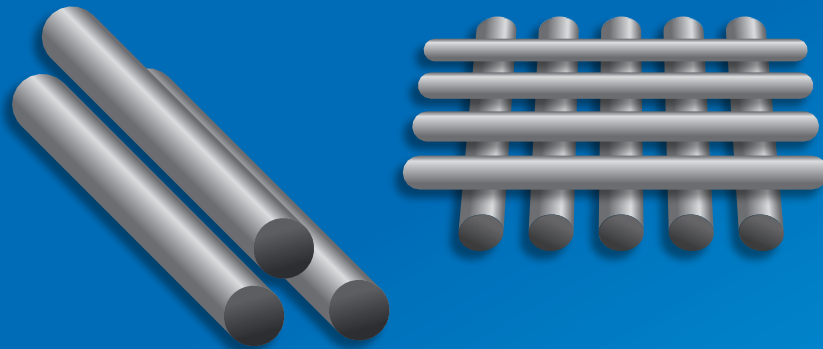
# 「材料からこだわる」モノづくり

最適な材料を選ぶところから始まる  
シンドーだからできる、こだわりのモノづくり。

例えばステンレスワイヤー製品の強度を上げたいとします。その場合、一般的には「**より太い**」材料を使うことで強度を上げようとしています。しかしそれでは**軽さやデザインを犠牲**にすることも。製品の本来の目的を損なってしまうては本末転倒です。



創業以来、金属材料を扱ってきたシンドーでは、製品の目的に応じて適切な材料と加工法のご提案が可能です。例えば細いワイヤーでも「**より硬い**」材料を使うことで強度を上げる方法もあります。材料からこだわった**付加価値の高いモノづくり**ができます。



一般的には材料を太くすれば強度は上がりますが、  
見た目や使い勝手が損なわれることも。

硬さ、光沢など金属にも様々な特性があります。  
その特性を熟知して材料から提案できるのがシンドーの強みです。

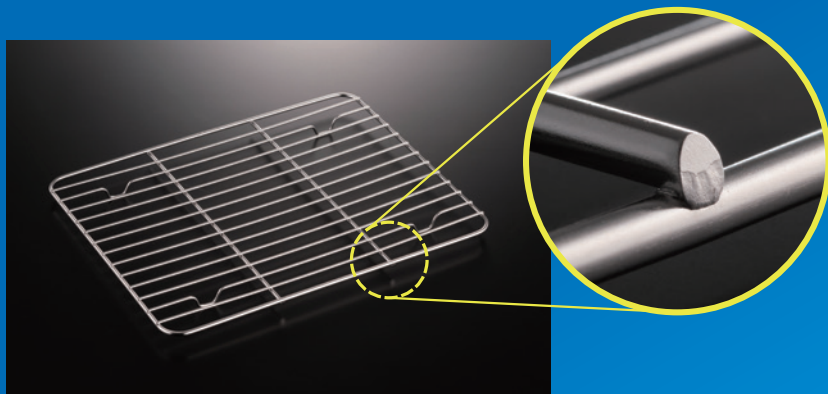
## Policy 2 「新しい常識を創る」モノづくり

使う人への想いが新しい技術を生み、新しい「常識」になりました。

以前は台所の水切りカゴなどのステンレスワイヤーの端は、切りっぱなしのものが主流でした。品質の悪いものだと、使っているときに指にケガをすることも。でも当時は技術上「仕方がない」「そういうものだ」という認識が多かったのです。



もっと安全で使いやすいものにならないか…シンドーでは「なんとかする」ために研磨の方法や溶接の方法を研究し、試行錯誤を重ねました。その結果、独自のTIG溶接技術「TW加工」で先を丸める加工技術を開発。手触りよく安全な製品を実現しました。



昔の水切りラックは端の切り口がむき出しで、研磨をかけていないと指をケガすることもありました。



なめらかで安全性の高いTW加工。現在はこのような処理の仕方が一般的になりました。

Policy 3

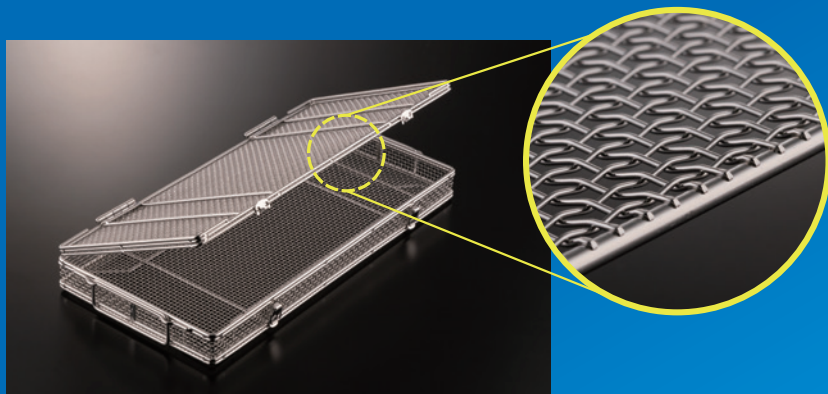
## 「問題解決のための」モノづくり

人が使う道具だから、人にやさしくあるべき。  
オリジナル仕様に工夫して、問題解決。

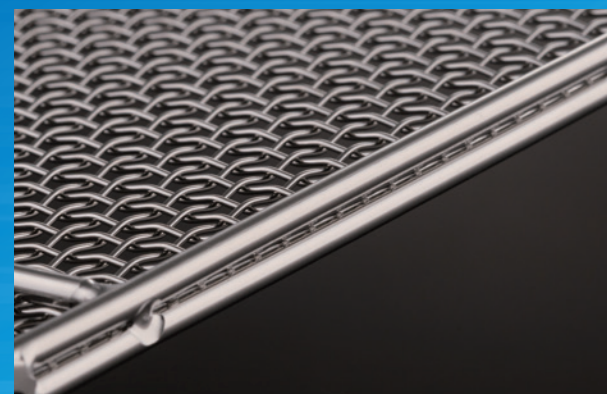
洗浄カゴなどによく使われる、ステンレスメッシュ。  
従来品だと、メッシュの縁部分がむき出しでゴツゴツ  
しています。医療の現場で使われることも多く、「**手  
触りや引っ掛かりが気になる**」という声が上がって  
いました。



より使い勝手よく、安全に。縁をステンレスのラインで  
挟み込む**独自の「サンドウィッチ構造」**に改良。**安全性  
と耐久性**が格段に向上しました。引っ掛かりを気にせ  
ず使えるので作業性も上がり、ご利用された方から大  
変喜んでいただきました。



メッシュの溶接部分がゴツゴツして手触りがよくありません。  
また溶接部分が剥がれる危険性もあります。



「サンドウィッチ構造」により、手触りの良さはもちろん、  
溶接剥がれや曲がりなどを抑え耐久性も上がりました。



所在地 〒959-1288  
新潟県燕市燕5525番地1

電話番号 0256-63-2566

設立 1947年(昭和22年)3月

お問い合わせは

TEL : 0256 - 63 - 2566 (平日9:00~17:00)

Mail : sales@shindo1947.com

コーポレートサイト <https://shindo1947.com/>

サービスサイト <https://shindo-sales.jp/>

---

サービスサイト「SHINDO's work～From metal to heart～」では  
金属加工に関する情報ブログを定期的に発信しています。

---